

## 第2学年 社会科学習指導案「中部地方」

2年4組 30名（男子14名・女子16名）@2年4組教室 授業者：前田 翔平

### <社会科における「主体的・対話的で深い学び」の姿>

- ・(主体的な学び)：生徒自らが課題を把握し、その課題の解決に向けた方策を考え、その学びに向かう姿
- ・(対話的な学び)：生徒同士の協議、教師や専門家との対話、地図や年表資料をじっくりと読み込む等の活動を通して自己の考えを広げる姿
- ・(深い学び)：「社会的な見方・考え方」を用いた考察、構想や説明議論等の学習活動を行う中で、社会的事象の特色や意味、理論などを総合的に思考・判断し汎用的に使うことができる姿

### <単元のねらい>

中部地方の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として、それをそこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連付け、産業が地域の自然環境や交通・通信などと深い関係をもっているについて考察することができる。

### <単元構造図>全6時間 □基礎的・基本的な知識、概念や技能

○第1時 中部地方をながめて① ―中部地方の生活の舞台― 社会的な事象への関心・意欲・態度

中部地方の自然環境にはどのような特色があるのだろうか。□日本アルプス □東海地方 □北陸地方 □中央高地地方

中部地方は、日本アルプスが連なって存在するため、3つの地域に分かれている。冬になると気候の特徴が顕著に見られる。東海は、太平洋に面しており晴れて乾燥した日が多く、雪がほとんど降らない。北陸は、日本海から吹き込む湿った季節風が雨や雪を降らせ、世界的な豪雪地帯でもある。内陸にある中央高地は、冷え込みが激しく0度を下回る。しかし、夏場は標高が高いため、涼しくて過ごしやすい気候とな

★第2時 中部地方をながめて② ―結びつく中部地方― 社会的な事象についての知識・理解

中部地方の人口や産業にはどのような特色があるのだろうか。□名古屋大都市圏 □政令指定都市 □東海工業地域 □中京工業地帯 □北陸工業地域

中部地方の人口は日本アルプスの影響で平野に集中している。特に東海地方は、東海道新幹線や東名高速道路等の主要幹線が通っており、その沿線には名古屋・浜松・静岡といった政令指定都市をはじめ、たくさんの都市が連なっている。北陸についても、海岸沿いに交通網が整備されており、沿線に新潟・富山・金沢・福井などの都市が点在している。中央高地では、盆地がトンネルによって結ばれており、甲府や長野・高山などの都市が発達している。これらの地方は、大消費地である近畿地方や関東地方の間にあり、産業が盛んである。東海地方は、中京工業地帯や東海工業地域が広がっている。また、施設園芸農業や漁業が有名である。北陸では、伝統産業や地場産業が各地に見られ、中央高地では、ぶどうやもも、りんごなどの果樹栽培や白菜やレタスなどの高原野菜が有名である。

### (単元を貫く課題) 中部地方の産業を支えているものは何か。

◎第3時 活発な産業を支える人々の暮らし①

社会的な思考・判断・表現

なぜ、鯖江市の眼鏡生産は日本の95パーセントものシェアを占めているのだろうか。

□地場産業 □伝統産業

北陸地方では、冬に降水量が多くなることから、農家の副業として伝統産業や地場産業が発達した。中でも、福井県の鯖江市の眼鏡のフレーム製造は家の中でできる副業から始まり、今や国内総生産約90パーセント・世界生産量約20パーセントを占める産業に発展した。鯖江市の多くの世界が眼鏡作りに関わっており、市全体で産業を盛んに行っている。交通網の充実により日本中に広まった。また、沿岸部であることから世界シェアも伸びてきている。

☆第4時 活発な産業を支える人々の暮らし②

資料活用の技能

なぜ、長野県川上村ではレタスの生産がさかんなのか。

□高原野菜 □輸送園芸農業

全国生産量は茨城県について、2位であるがその差は大きい。しかし、川上村での生産がさかんなのは、中央高地の涼しい気候を活かして出荷時期をずらし、出荷先を独占できるためである。また、他県が栽培できない時期であるため高く売れる。中央高地から、高速道路が敷かれており、東京、名古屋、北陸などの様々な方面に向かって、工夫されたトラックで新鮮なレタスを届け人気となっている。

◎第5時 活発な産業を支える人々の暮らし③

社会的な思考・判断・表現

なぜ、T社は工場を拳母市に建てたのだろうか。

□広大な土地 □交通網

T社は、地理的に条件のそろった拳母市に工場を建てた。工場を建てる際、工場や従業員の宿舍が立てられるだけの広い土地や多くの労働力、輸送ルートの確保が必要であった。拳母市はもとより畑のない200万平方メートルもある広大な土地があった。また、名古屋市(大都市圏)に近いため多くの労働力を確保することができた。さらに、交通網の発達により、全国へ輸出するルートが確保できていた。このような条件がそろっていたためT社は工場を拳母市に建てた。

☆第6時 中部地方をまとめる 資料活用の技能

中部地方の産業を支えているものは何か。

中部地方の産業は、土壌や気候などの自然環境や都市と結びつく交通網、歴史的な背景、人々の絶え間ぬ努力などに支えられ発展してきたことが分かった。それぞれの地域の環境に合った産業が発達した。

<本時のねらい>

自動車産業で世界 1 位の売り上げがある T 社が、工場を愛知県拳母市に建てた所から、その理由を「広大な土地」「豊富な労働力」「交通網の発達」の視点から考え説明し合う活動を通して、東海の地域は工業が発展する条件が整っていることに気付く、その他の地域でも工場が建てられた理由を上条件を用いて説明することができる。

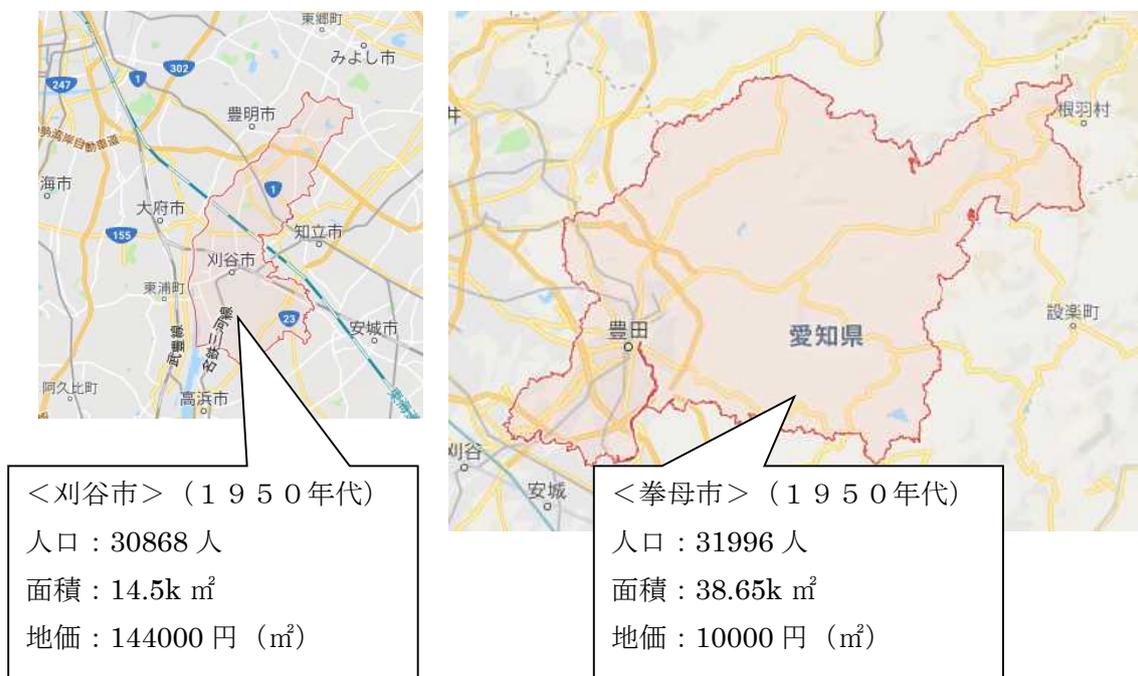
<本時の展開> (本時の位置 5 / 6)

過程	学 習 活 動	研究内容 2 に関わる指導・援助			
導入 5 分	<p>① 単元を貫く課題を想起し、本時のねらいを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を貫く課題は何でしたか。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中部地方の発展を支えるものはなんだろう」です。</li> </ul> </li> <li>○自動車の売り上げが世界 1 位の T 社ですが、自動車生産を始める前は刈谷市に工場がありました。しかし、自動車生産を始めるにあたり工場を移そうと決めたそうです。どこに移したと思いますか。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京・名古屋・大坂・豊田</li> </ul> </li> <li>○豊田が正解です。昔は拳母市（ころもし）と言いました。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでわざわざ？</li> </ul> </li> <li>○そうですね。調べてみましょうか。</li> </ul> <p>② 本時の課題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     なぜ、T 社はわざわざ工場を拳母市に移したのだろうか。                 </div>	<p>① 単元出口の活動を確認し、本時は中京工業地帯の発展から中部地方を支えるものに迫ることを全員で確認する。</p> <p>② 刈谷市から拳母市に移り変わったズレから疑問が生じるようにする。</p>			
展開 30 分	<p>③ 課題に対して予想し、追究することを明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなの予想が本当かどうか追究するためにはどのような資料が必要な。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い土地が必要だったのではないかな。</li> <li>・交通網が発達したからではないかな。</li> <li>・日本の真ん中あたりにして輸出しやすくしたのではないかな。</li> <li>・名古屋市が近いから労働力が確保できるからかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>④ 【広大な土地】【豊富な労働力】【交通網の発達】の 3 つの視点から、課題を追究する。</p>	<p>③ 予想から必要な資料を考え、意欲的に追究できるようにする。</p> <p>④ 「主体的・対話的で深い学び」について段階的な指導</p>			
深め 5 分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使われていない広大な土地が取れる平野が拳母市にはあったんだ。</li> <li>・土地があり、工場の拡大がしやすい</li> <li>・全国への輸出を視野に入れたとき、東京や大阪のちょうど中心に位置しているこの土地がいいんだ。</li> <li>・地価が安いから広く変えたんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【広大な土地】</b></p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部にも近く多くの人口がいるので、労働者を確保できるんだ。</li> <li>・土地の広さだけでなく人口が多い街に近いというのが大切なんだ。</li> <li>・労働者を受け入れる土地も用意したんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【豊富な労働力】</b></p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国につながる交通網があったんだ。</li> <li>・名古屋港を活用して資源の輸入をしているんだ。</li> <li>・名古屋港までも交通網がある。輸出ルートが確保できるんだ。</li> <li>・名古屋市から通勤できる距離にある。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【交通網の発達】</b></p> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使われていない広大な土地が取れる平野が拳母市にはあったんだ。</li> <li>・土地があり、工場の拡大がしやすい</li> <li>・全国への輸出を視野に入れたとき、東京や大阪のちょうど中心に位置しているこの土地がいいんだ。</li> <li>・地価が安いから広く変えたんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【広大な土地】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部にも近く多くの人口がいるので、労働者を確保できるんだ。</li> <li>・土地の広さだけでなく人口が多い街に近いというのが大切なんだ。</li> <li>・労働者を受け入れる土地も用意したんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【豊富な労働力】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国につながる交通網があったんだ。</li> <li>・名古屋港を活用して資源の輸入をしているんだ。</li> <li>・名古屋港までも交通網がある。輸出ルートが確保できるんだ。</li> <li>・名古屋市から通勤できる距離にある。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【交通網の発達】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から説明することができる。</li> <li>・複数の資料から説明することができる。</li> <li>・複数の資料を関連付けて説明することができる。</li> <li>・前時の授業の資料を活用して説明することができる。</li> <li>・説明をした後、資料を読み返しながら修正を加えて改善して説明することができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使われていない広大な土地が取れる平野が拳母市にはあったんだ。</li> <li>・土地があり、工場の拡大がしやすい</li> <li>・全国への輸出を視野に入れたとき、東京や大阪のちょうど中心に位置しているこの土地がいいんだ。</li> <li>・地価が安いから広く変えたんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【広大な土地】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部にも近く多くの人口がいるので、労働者を確保できるんだ。</li> <li>・土地の広さだけでなく人口が多い街に近いというのが大切なんだ。</li> <li>・労働者を受け入れる土地も用意したんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【豊富な労働力】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国につながる交通網があったんだ。</li> <li>・名古屋港を活用して資源の輸入をしているんだ。</li> <li>・名古屋港までも交通網がある。輸出ルートが確保できるんだ。</li> <li>・名古屋市から通勤できる距離にある。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【交通網の発達】</b></p>			
終末 10 分	<p>⑤ T 社が福岡県にも工場を置いた理由を説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡も九州地方の中で人口が多いため、労働力が確保できるんだ。</li> <li>・福岡は大きな平野になっているため、工場が建てやすかったのではないかな。</li> <li>・博多港があるし、博多を中心にして多くの交通網が発達しているから、輸送ルートも確保できるんだ。</li> </ul> </div> <p>⑥ 本時をまとめる。条件：黄色の文字をつなげて書くこと。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T 社は、地理的に条件のそろった拳母市に工場を建てた。工場を建てる際、工場や従業員の宿舎が立てられるだけの広い土地や多くの労働力、輸送ルートの確保が必要であった。拳母市にはもともと畑のない 200 万平方メートルもある<b>広大な土地</b>があった。また、名古屋市（大都市圏）に近い<b>多くの労働力</b>を確保することができた。さらに、<b>交通網の発達</b>により、全国へ輸出するルートが確保できていた。このような条件がそろっていたため T 社は工場を拳母市に建てた。</p> </div>	<p>⑤ 自分たちが見につけた見方や考え方が汎用的に使うことができることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価基準&gt; 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広大な土地」「豊富な労働力」「交通網の発達」の視点からまとめることができる。</li> <li>・福岡県にも工場を置いた理由を説明することができる。</li> </ul> </div> <p>⑥ 黒板に、キーワードとして書かせたい語句を黄色の文字で板書する。</p>			

資料 1



資料 2



資料3

T社が求める土地	
①今後工場を拡大できるくらいの土地30万坪以上（1k㎡以上） ②買い取りやすい土地（地価が安い、使われていない土地） ③多くの労働者を受け入れる住宅を建てられるくらいの土地（500㎡）	
<刈谷市> ・すでに工場が建っている ・住宅が広がり立ち退きをお願いする必要がある。	<拳母市> ・水をひく技術が発展しておらず、農業や稲作ができず60万坪（2k㎡）もの荒地がある。

資料4

<p>満州国 同和自動車工業</p> <p>第1号ディーラー 日の出モータース</p> <p>第5号ディーラー 関東トヨタ</p> <p>第7号ディーラー 広島トヨタ</p> <p>拳母市 (ころもし)</p> <p>第2号ディーラー 東京トヨタ</p> <p>第6号ディーラー 静岡トヨタ</p> <p>第3号ディーラー 国産自動車KK</p> <p>第4号ディーラー 大阪トヨタ</p>	ディーラー	所要時間
	1号	2時間
	2号	4時間
	3号	2時間
	4号	3時間
	5号	7時間
	6号	2時間
※ディーラー・・・車を販売する場所		7号 6時間



昭和 30 年代から始まったエネルギー革命の影響を受け、1976 年までにすべての炭鉱が閉山した。炭鉱閉山後は、交通網が発達し、九州自動車道若宮インター近くに工業団地が造られた。また、炭鉱に使われていた広大な土地が余っていた。

中部地方⑤ 中部地方の工業

単元を貫く課題

中部地方を支えるものは何か。

課題

○ 資料をもとに課題についてまとめてみよう。

キーワード

--

まとめ


<目指せ！レベルファイブ！>

- ( ) 資料から説明することができる。 レベル1
- ( ) 複数の資料から説明することができる。 レベル2
- ( ) 複数の資料を関連付けて説明することができる。 レベル3
- ( ) 前時の授業の資料を活用して説明することができる。 レベル4
- ( ) 説明をした後、資料を読み返しながら修正を加えて改善して説明することができる。 レベル5

うまく説明できたらサインをもらおう！

男子	女子
(            ) さん (            ) さん	(            ) さん (            ) さん
(            ) さん (            ) さん	(            ) さん (            ) さん